



かもみーる かお首ーる

～NEWS Letter～ 32号 2013年 2月

.. TOPICS ..

- * 地域科学部社会活動演習
- * FD開催のお知らせ
- * 「サイエンス夢追い人」参加者募集
- * 新室員紹介

『岐大生と一緒に 親子で、歌って、踊って、子育てについて語り合おう!』開催

2月9日(土)、『岐大生と一緒に親子で、歌って、踊って、子育てについて語り合おう!』が、岐阜大学地域科学部101講義室において開催されました。

地域科学部の近藤眞庸先生の授業「社会活動演習」における本企画は、1997年度から学生たちと一緒に取り組んできたイベントの一環です。今年度は男女共同参画推進室も「後援」しました。本企画の特徴は、学生たちがイベント準備(企画、宣伝・広報活動)に主体的に関わっている点にあります。学生たちは、イベント本番が成功するように、事前の打ち合わせや踊りの練習に、熱心に取り組んできました。

当日は、子どもと保護者、一般参加の学生など、あわせて12名の参加があり、はじめに簡単なゲームを行うことで、学生と子どもたちが親睦を深めました。子どもたちは、「ミナモダンス」、「ソーラン節」を学生たちと一緒に練習した後に、「発表会」において保護者の前で披露しました。子どもたちが踊りの練習をしている間、保護者の方たちは、近藤先生による歌と紙芝居を含めた講演を楽しみました。学生にとっては、自主的にイベントを企画・運営することで、子育て支援に関する理解を深める機会となりました。



▲打ち合わせの様子



▲開会式の様子



▲ソーラン節の様子



佐竹帆乃香さん: イベントを通じて親同士も仲良くなれば良いなと思って準備しています。

大沢百香さん: 踊りは子どもも親も楽しめるものなので、みんなが仲良くなれば良いなと思います。

▲本番への意気込みを語ってくれました



▲ゲームの様子



▲ミナモダンスの様子



▲講演会の様子



▲集合写真

お知らせ掲示板

地域科学部・教育学部・男女共同参画推進室共催FDの開催

日時：平成25年3月6日（水）15:00～16:00

場所：全学共通教育棟105教室

講演：「お茶の水女子大学における女性研究者支援と環境整備

—お茶大インデックスとCOSMOSワークブック活用のすすめ—

鷹野 景子 氏 お茶の水女子大学副学長、附属図書館長、
大学院人間文化創成科学研究科自然・応用科学系 教授

本FDは、地域科学部および教育学部の教職員を主な対象としていますが、他学部の教職員および学生の参加も歓迎しています。事前申し込みは必要ありません。直接、会場へお越しください。

<講師紹介>

鷹野 景子氏

お茶の水女子大学副学長、附属図書館長、
大学院人間文化創成科学研究科自然・応用科学系 教授、
理学博士（大阪市立大学）、専門は量子化学

お茶の水女子大学理学部化学科卒業、同大学院理学研究科
化学専攻（修士課程）修了、同理学部助手、助教授を経て、
2006年より教授。学長補佐、教育研究評議会評議員、
リーダーシップ養成教育研究センター長、女性支援室長等
を経て、2011年より現職。



<趣旨>

ワーク・ライフ・バランスを考えた生き方が、広く全構成員にとっての男女共同参画推進に有用であることは言をまちません。しかし、大学の研究者にあっては、ワークとライフの関係が曖昧化、融合化している実態があり、いかにしてワーク・ライフ・バランスに向かい合っていけばよいかは、当事者ならびに関係者が関心を寄せる課題です。

本FDでは、女性研究者支援の体制をいち早く整備し、女性研究者に適合した雇用環境を構築するための取り組みを精力的に進めてきたお茶の水女子大学の鷹野景子氏より、その先進的取り組み事例などをご紹介頂きます。今後の本学地域科学部および教育学部におけるこの課題への方策を考える機会となることを願っています。

岐阜大学サイエンス夢追い人育成プロジェクト (女子大学院生による出前講義)

女子大学院生募集



サイエンス夢追い人育成プロジェクトは、女性研究者の育成および裾野拡大を目的に、岐阜大学の女子大学院生が県内の小中高等学校に赴き、これまでの進路選択の経緯や研究内容について講義を行うものです。

本プロジェクトは、文部科学省科学技術人材育成費補助金による「女性研究者研究活動支援事業（女性研究者支援モデル育成）」の一環として平成22年度にスタートし、これまでのべ27回の講義を実施してきました。

男女共同参画推進室では、来年度も引き続き本プロジェクトを実施します。

出前講義をやってみたい方は、
男女共同参画推進室まで
お知らせください。

まずは話だけ…という方も、
お気軽にご連絡ください。

プロジェクトのねらい

●大学院生にとっては

・教育経験を通して、自らの研究内容や社会的意義を見つめ直すことで、研究に対する意欲の向上、キャリアアップを促進します。

●小中学校・高等学校の生徒にとっては

・大学院生との交流を通して、大学や科学に対する興味や関心を喚起します。
・身近なロールモデル（行動のお手本）である女性研究者の存在を知ること、進学意欲を高めます。

参加した女子大学院生の声



講義を行うにあたって、まず自分自身について振り返りました。このことによって、改めて自分自身について深く知ることができ、課題や目標も見つかりました。



これまでは、研究内容に対して事前に理解や知識がある人に対してしか、発表の機会がありませんでした。決められた時間内で、あまり詳しくない人に対し、いかに内容を絞って的確に説明するか、ということに注意を払って準備することができ、より聞く側の立場にたって内容を考えることができました。



スライドの作り方や講義の流れについて、色々な指導を受けたことで勉強になりました。今回の講義を通して、プレゼンテーション能力を少し上げることができたと感じています。この活動に参加して、本当に良かったと思います。

実施実績

これまでに、のべ**12校**で**27回**実施し、
2,157名が受講しています。

〔小学校のべ2校で4回、中学校のべ5校で8回、
高等学校のべ5校で15回〕

ご来訪：京都工芸繊維大学の男女共同参画担当者の方々

2月4日（月）、京都工芸繊維大学の男女共同参画推進担当者の方々にご訪問いただき、本学の男女共同参画推進への取り組み体制や実施してきた活動について説明しました。また、京都工芸繊維大学の取り組み状況を伺い、意見交換を行いました。2月22日には、林正子男女共同参画推進室長が、京都工芸繊維大学にて、本学の取り組みについて講演を行います。



新室員の紹介



殿崎 雅弘 人材開発部長

1月1日付けで人材開発部長として着任いたしました。6年ぶりの大学現場での勤務のため、周りの職員の方の足を引っ張りながら1か月が過ぎたところです。前職は文科省から内閣府情報公開・個人情報保護審査会事務局に出向しており、名取はにわ元内閣府男女共同参画局長が部会長としておいでになりましたが、私自身は男女共同参画に関する業務には従事した経験はありませんでした。今回、男女共同参画推進室の室員になるにあたり、娘の幼稚園の入園説明会に出席した時に、保護者の中で男性は私ただ一人だったことを思い出しました。男女共同参画という言葉の響きからは、女性の社会参加が注目されるのですが、本来的には女性も男性も各人の個性と能力を發揮し、社会のあらゆる分野に参画することを意味するものからすれば、この経験も立派な男女共同参画の活動だったと言えるかもしれません。本学は本年度末をもって文部科学省科学技術人材育成費補助事業である「女性研究者研究活動支援事業」が終了します。今後は限られた予算の中で効果的に男女参画事業を展開していくかが課題となります。今後とも女性の研究者はじめ、教職員の皆様が、より充実した環境で能力を大いに發揮できるように環境整備の構築に努めたいと思います。どうかよろしくお願い申し上げます。

岐阜市が男女共同参画川柳・男女共同参画優良事業者表彰式・記念講演会を開催

平成25年1月12日（土）に、岐阜市文化センターで、岐阜市男女共同参画推進条例制定10周年記念行事として、「男女共同参画川柳・男女共同参画優良事業者表彰式・記念講演会」が開催されました。岐阜大学からは、人材開発部職員育成課の職員3名が参加しました。講演会では、忙しい弁護士業務の傍ら、休日は地元小学生のバレーボールチームの監督も務めている菊地幸夫弁護士が、男性も積極的に地域との関わりを持つことで人生が豊かになることを語られました。ご自身の楽しいエピソードを交えたお話で、ワーク・ライフ・バランスの大切さを痛感させられる講演でした。

講演会

講師：菊地 幸夫 氏（弁護士）

「ワーク・ライフ・バランス～仕事も家庭も一生懸命～」

平成24年度 ともに輝く☆キラリ大賞

男女共同参画優良事業者

☆アピ株式会社

☆株式会社ヨシダヤ

☆アース・クリエイト有限会社

岐阜大学男女共同参画推進室（人材開発部職員育成課男女共同参画係） URL：http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 Tel：058-293-3378 Fax：058-293-3396 E-mail：sankaku@gifu-u.ac.jp

*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。